

遠隔放送関連ラインナップ

【遠隔放送用 親装置】

簡易設置タイプ



遠隔回線1系統を収容できる簡易設置タイプの親装置です。操作器型の本体の背面に電源と遠隔回線を接続するだけで使用できます。遠隔方式は、DW1方式、U/H1、U/H2方式に対応しております。

セパレートタイプ

[操作器]



制御装置と操作器が分かれたセパレートタイプの親装置です。制御装置はDW1、DW2、U/H1、U/H2、U/H3方式の遠隔方式に対応しており、1台の制御装置には遠隔回線を2系統収容できます。

操作器は最大8台、制御装置は最大6台まで増設が行えます。操作器にはWindowsPCを使用しており、グラフィカルな画面で操作が行えます。またマイク音声を録音してスケジュールを組んで自動で放送する機能も設けております。

[制御装置]



【遠隔放送 子装置】

列車接近遠隔放送装置(機能限定タイプ)



接近放送と遠隔放送に機能を絞った子装置です。接近放送用の起動入力を2系統、遠隔回線を1系統受信できます。遠隔方式はDW1、DW2、U/H1方式に対応しております。アンプは30Wを2系統内蔵しております。24時間タイマを内蔵しており、夜間音量切替もしくは夜間放送停止のどちらかに使用できます。

列車接近遠隔放送装置(標準タイプ)



接近放送、出発放送、遠隔放送、自駅放送機能と高声電話機並みの機能を持った子装置です。遠隔回線を1系統受信でき、遠隔方式はDW1、DW2、U/H1、U/H2、U/H3方式に対応しております。アンプは30Wを2系統、15Wを2系統内蔵しております。24時間タイマによる夜間音量切替、夜間放送停止の機能があります。

既設のアンプを使用する場合

遠隔放送着信ユニット



既設アンプに遠隔放送の着信機能を付加するユニットです。※既設アンプに外部入力(音声と起動)が必要です。遠隔回線を1系統受信し、音声と起動接点信号を既設アンプへ出力するユニットです。遠隔方式はDW1、U/H1、U/H2方式に対応しております。

IPネットワークに接続する場合

IP変換アダプタ



IPパケットの音声をアナログ音声に変換するユニットです。音声と起動接点信号を出力するので、既設アンプや列車接近遠隔放送装置(標準タイプ)などに接続できます。※IPパケットを送出する親装置は、弊社製の親装置に限ります。

【遠隔方式の概要】

- ・DW1方式: DTMF1波起動方式 最大10駅/系統
- ・DW2方式: DTMF1波起動方式 最大10駅/系統 ※DW1と子装置の応答信号の違い
- ・U/H1方式: DTMF2波+2600Hz起動方式 最大15駅/系統+一斉
- ・U/H2方式: DTMF2波+2600Hz起動方式 最大90駅/系統+グループ9+一斉
- ・U/H3方式: DTMF3波+2600Hz起動方式 最大15駅/系統+一斉 ※駅内の個別回線の起動可能